

環境審査顧問会大気環境分科会  
議事録

1. 日時：平成17年10月26日(水) 13:30～15:00
2. 場所：経済産業省別館11階第1120共用会議室
3. 出席者：  
(顧問)  
横山会長、四方主査、北林顧問、山口顧問、山下顧問  
  
(経済産業省)  
高取統括環境保全審査官、金子環境審査班長 他
4. 議題：環境影響評価準備書の審査について  
・大阪ガス(株)泉北天然ガス発電所
5. 議事概要：  
(1)開会の辞  
(2)配布資料の確認  
(3)大阪ガス(株)泉北天然ガス発電所の環境影響評価準備書に係る審査に当たり、事務局から質問事項への回答、補足説明資料及び審査書(案)に基づき説明がなされた。

<質問事項への回答及び補足説明資料について>

- 【顧問】 冷却塔からの飛散水量について、川崎天然ガス発電所ではこの発電所よりも数値が1桁小さかった。補足説明資料の実測値は数少ないデータだろうと思うが、三十数年前の設備でエリミネータなどが当時と変わらないのか逆に疑問を感じる。当時すでに改良されておればこの数字でも納得できる。ただ、今までのアセスメントで分かるように、周辺への飛散水滴量を計算するとほとんど問題にならない数字となる。これが実態であれば水滴の排出量の精度はあまり問題ないと思うが、一方で、水滴は煙突の排ガスのように出口から素直に出るものでは必ずしもなく、建物の隙間から出るなどいろいろな形で外に出ている可能性があり、実態を正確につかむのは難しいという印象を持っている。
- 【顧問】 補足説明資料12ページの二酸化炭素予測条件について、気温が低い方が発電効率は良くなるので、最大排出量にならないのではないかと。
- 【経済省】 11ページの発電効率は大気温度が15の場合と比べると5の方が小さくなっている。
- 【顧問】 内部境界層の設定について、境界層外を安定度D、境界層内を安定度Bとしているが、その根拠は何か。最大値を考えるならば、境界層内の安定度はAにしなければいけないのではないかと。
- 【経済省】 大気安定度については 検討したい。
- 【顧問】 11ページのA、Bとは第一工場、第二工場ということか。何か説明が必要ではないかと。
- 【経済省】 メーカー名を明示しないように表記している。
- 【顧問】 12ページで発電効率は51.1%と51.4%ということだが、0.3%の差は大きいという印象である。
- 【経済省】 この違いは蒸気タービンと冷却塔の設計がメーカー毎に違うために出ている差である。

<審査書(案)について>

- 【顧 問】 環境監視の表記の仕方が「把握する」、「測定する」などと違うので、統一したらどうか。
- 【経済省】 監視の仕方を確認し、修正する。
- 【顧 問】 工事騒音について、「パワーレベル」という言葉が出てくるが、建設機械の活動が最も盛んになるとき、という意味か。
- 【経済省】 騒音が最も大きい場合で考えるが、事業者を確認する。
- 【顧 問】 一点目に、5ページで1,2号機を集合煙突とするとあるが、吉の浦火力発電所の審議の際に、煙突の配置についてこれで集合効果は大丈夫かという質問が出たこと、冷却塔については集合化しないでそれぞれ1本ずつ計算して足している、ということを見ると、煙突についても2本の出口の配置関係を確認していただきたい。二点目に、特殊気象条件発生下について、バックグラウンド濃度から見て十分小さいと集約しているが、準備書ではその時の高濃度出現地点について、バックグラウンドを加えても十分低い、と記載されている。むしろこちらの方が重要であり、両方を併記されるとよいのではないか。三点目に、冷却塔白煙について、完全に乾湿併用したときの数字が示されており、常に乾湿にして白煙がほとんどでないという書き方になっているが、実際は湿式で単独運転するケースが多い。実際の運転と違うと思うので書き方を工夫すべき。白煙はほとんど出ないという記述ではなく、ある程度白煙化はするが、白煙化しやすい時期はこのように抑制する、という書き方が正直ではないか。
- 【経済省】 一点目については事業者を確認する。二点目については記述を修正する。三点目については記載を検討する。
- 【顧 問】 2ページについて、窒素酸化物は「環境基準を下回っている」としているが、粉じんは「環境基準を上回っているが寄与率小さい」としている。どちらの場合も寄与率を示し、環境基準については念のため下回っている旨記載したらどうか。環境基準さえクリアしていれば寄与率は大きくてもいいとも取れてしまう。
- 【経済省】 寄与率を追加する方向で、検討する。
- 【顧 問】 排ガス温度が60 であるが、このような低い排ガス温度の場合、冬と夏とでの予測は行っているか。
- 【経済省】 排ガス温度は96 である。
- 【顧 問】 96 であれば問題ない。冷却塔白煙について、「冷却塔白煙が環境に及ぼす影響」とあるが、実際にやっているのは安全に対する評価であり、環境に及ぼす影響というのは不適切ではないか。環境審査顧問会でも考えなければいけない問題である。
- 【顧 問】 安全アセスでなく環境アセスだから仕方ないが、白煙が生じてそれがどういう影響なのか、というのはまだはっきりしない問題である。
- 【顧 問】 DSS運転はやるのか。毎日の立ち上げの際に、例えば第一工場の目の前に大きなバースがあるが、そこにタンカー等が入った場合、風向が西風になった時ダウンウォッシュ、ダウンドラフトの影響は大丈夫か。定常運転になれば90 の排ガス温度で速度も30m/s程度、110mの実煙突高度になっているのでそういうことは起こらないが、DSS運転の始まりのところでは吐出速度、排ガス量も小さいので、ダウンウォッシュの影響があるかもしれない。確認した方がよいと思う。
- 【経済省】 事業者はDSS運転を考えているということなので、御指摘の点を確認する。

#### (4) 閉会の辞

以上